くすりのしおり

内服剤

2018年06月改訂

|  |
| --- |
| 薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。 |
| **商品名:ピーエイ配合錠****主成分:**サリチルアミド(Salicylamide)アセトアミノフェン(Acetaminophen)無水カフェイン(Anhydrous caffeine)プロメタジンメチレンジサリチル酸塩(Promethazine methylenedisalicylate)**剤形:**白色～微黄白色の錠剤、直径9.0mm、厚さ5.0mm**シート記載:**（表）ピーエイ配合錠、ピーエイ、ZE22（裏）PA TABLETS、ピーエイ配合錠 |  |
| **この薬の作用と効果について**鎮痛・解熱作用、抗ヒスタミン作用、鎮痛補助作用などをもつ成分の配合により、かぜの諸症状を改善します。通常、感冒もしくは上気道炎に伴う症状（鼻汁、鼻閉、咽・喉頭痛、頭痛、関節痛、筋肉痛、発熱）の改善および緩和に用いられます。 |
| **次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。**・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。胃・十二指腸潰瘍、アスピリン喘息または既往歴、緑内障、前立腺肥大など尿路の閉塞性疾患、肝障害がある。・妊娠または授乳中・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。 |
| **用法・用量（この薬の使い方）**・**あなたの用法・用量は((**:医療担当者記入**))**・通常、成人は1回2錠を1日4回服用しますが、治療を受ける疾患や年齢・症状により適宜増減されます。必ず指示された服用方法に従ってください。・飲み忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く飲んでください。ただし、次に飲む時間が近いときは忘れた分は飲まないで、1回とばしてください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。 |
| **生活上の注意**・眠くなることがあるので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作は避けてください。・飲酒により薬の作用や副作用が強まることがありますので、十分注意してください。 |
| **この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）**主な副作用として、眠気、口渇、食欲不振、過呼吸、発疹、浮腫、鼻炎様症状、結膜炎、貧血などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。**まれに下記のような症状があらわれ、[　]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。****このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。**・呼吸困難、血管浮腫（眼や口唇のまわりの腫れ）、じん麻疹 [ショック、アナフィラキシー]・高熱、眼の充血、皮膚粘膜のただれ・水疱 [中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、急性汎発性発疹性膿疱症、剥脱性皮膚炎]・動悸・息切れ、発熱、歯ぐきの出血 [再生不良性貧血、汎血球減少、無顆粒球症、溶血性貧血、血小板減少]・発熱、咳、呼吸困難 [喘息発作の誘発、間質性肺炎、好酸球性肺炎]・けん怠感、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる [劇症肝炎、肝機能障害、黄疸]**以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。** |
| **保管方法 その他**・乳幼児、小児の手の届かないところで、光、高温、湿気を避けて保管してください。・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。 |
| **医療担当者記入欄** 　　　　　　　　年　　　月　　　日 |

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。